

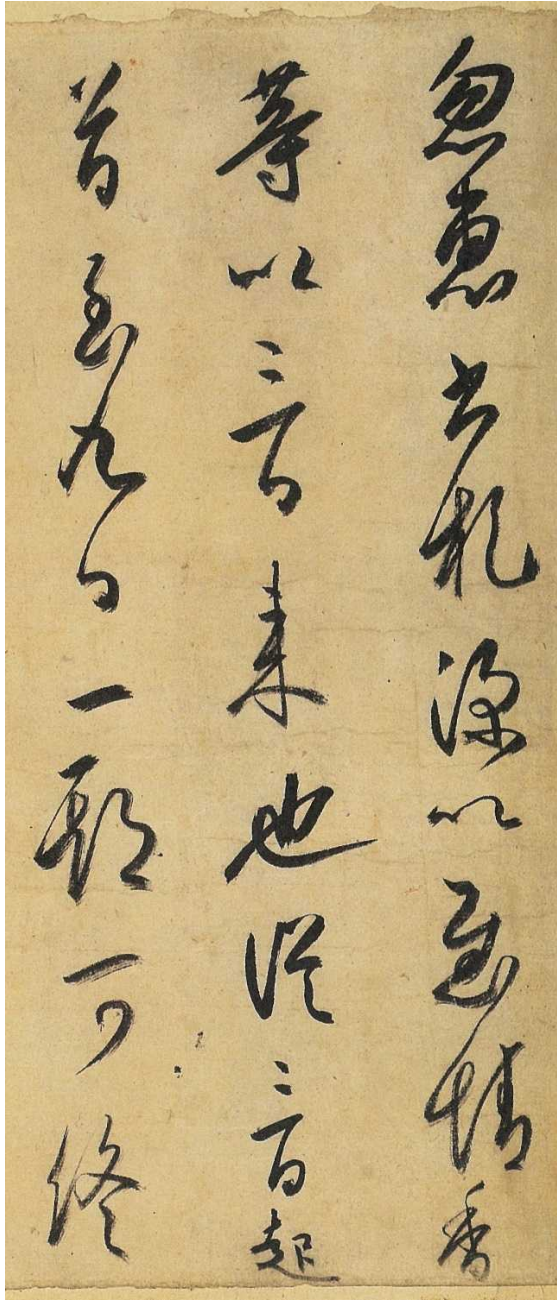
科目	書道科教育について の論述	対象	書道教育サブプログラム
----	------------------	----	-------------

試験区分				
特別選抜	外国人留学生等選抜	派遣教員選抜	現職教員選抜	一般選抜
×	○	×	○	○

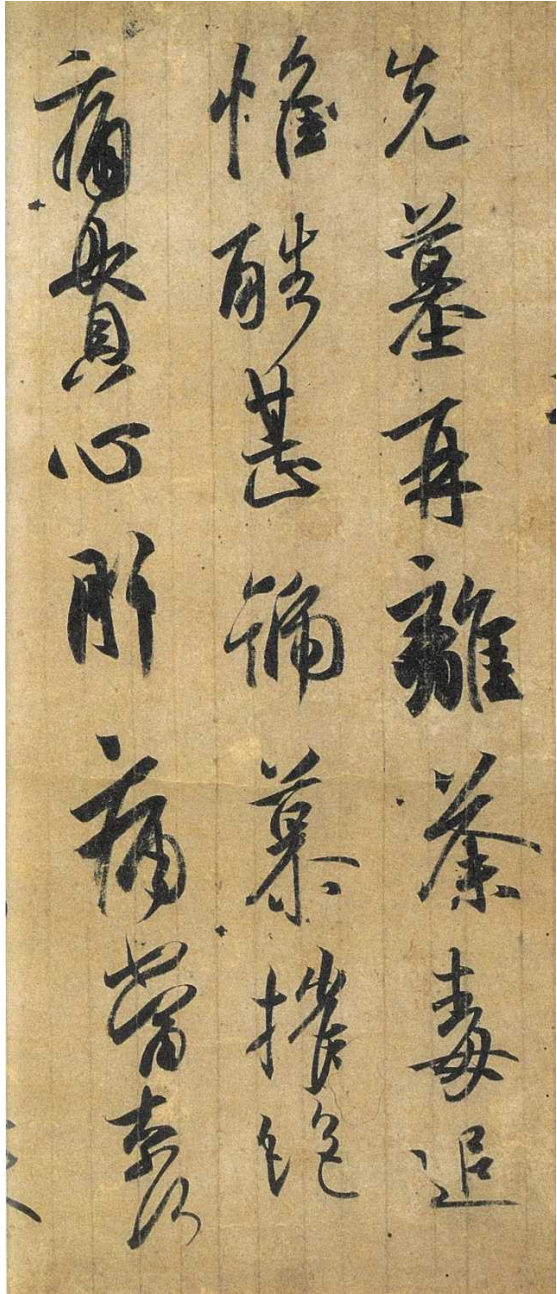
受験番号						

I 次の①及び②の二つの作品（古典）について、後の問いに日本語で答えよ。

①



②



科目	書道科教育について の論述	対象	書道教育サブプログラム
----	------------------	----	-------------

試験区分				
特別選抜	外国人留学生等選抜	派遣教員選抜	現職教員選抜	一般選抜
×	○	×	○	○

受験番号						

(1) それぞれの作品について、作品（古典）名、書者、時代、書風および書道教育や書の歴史における価値について、簡潔にわかりやすく解説せよ。

【解答欄】

①	〔解答のポイント〕 ・ 作品名の〈忽患帖〉、書者の空海が正確に記されている。 ・ 空海が最澄に宛てた尺牘の三通目であることが正確に記されている。 ・ 書体、用筆・運筆、書風について、正確に述べられている。 ・ 空海のその他の書を含めた書道教育における価値について、具体的かつ正確に述べられている。 ・ 日本の後世の学書に与えた影響や空海のその他の書を含めた書道史的位置づけ等について、正確に述べられている。 〔出典〕『書の宇宙』10（二玄社、一九九七年、三〇頁） 解答への影響を踏まえ、正解・解答例に記載した。
②	〔解答のポイント〕 ・ 作品名の〈喪乱帖〉、王羲之の書の双鉤填墨であることが正確に記されている。 ・ 唐代に双鉤填墨され、奈良時代に日本に伝来したことが正確に記されている。 ・ 書体、用筆・運筆、書風について、正確に述べられている。 ・ 書道教育における価値について、具体的かつ正確に述べられている。 ・ （特に日本の）後世の学書に与えた影響や書道史的位置づけ等について、正確に述べられている。 〔出典〕『書の宇宙』6（二玄社、一九九七年、二八頁） 解答への影響を踏まえ、正解・解答例に記載した。

(2) 作品①、②両方またはいずれかを取り上げた書道Ⅱの単元（四時間扱い）を考え、単元の目標、指導計画の概要（二時間×二回）、評価規準を作成せよ。指導計画の作成にあたっては、作品①、②の両方またはいずれかの教材を含んだ内容とすること。評価規準の作成に当たっては、観点ごとの実現状況等を見取ることができる評価対象と学習活動についても記載すること。

・ 単元の目標

【解答欄】

知識及び技能	〔解答のポイント〕 ・ 高等学校学習指導要領（芸術科書道）の趣旨、特に書道Ⅱの趣旨を踏まえて作成している。 ・ 評価の三観点の趣旨を理解した目標となっている。 ・ その教材で何を教えるのかを意識した目標設定がなされている。 ・ 評価規準を意識し、A表現、B鑑賞いずれかまたは両方の目標が適切に記載されている。
思考力、判断力、表現力等	
学びに向かう力、人間性等	

科目	書道科教育についての 論述	対象	書道教育サブプログラム
----	------------------	----	-------------

試験区分				
特別選抜	外国人留学生等選抜	派遣教員選抜	現職教員選抜	一般選抜
×	○	×	○	○

受験番号						

・単元の指導計画の概要（二時間×二回）

【解答欄】

第一次	〈解答のポイント〉 ・高等学校学習指導要領（芸術科書道）の趣旨、特に書道Ⅱの趣旨を踏まえて作成している。 ・書道Ⅱの目標に示された資質・能力を育成し得る指導計画となっている。 ・実際の授業実践が想定し得るものであり、生徒の主体的な活動を促す指導計画となっている。 ・今日的な教育課題を意識して作成されている。
第二次	〈解答のポイント〉 ・高等学校学習指導要領（芸術科書道）の趣旨、特に書道Ⅱの趣旨を踏まえて作成している。 ・書道Ⅱの目標に示された資質・能力を育成し得る指導計画となっている。 ・実際の授業実践が想定し得るものであり、生徒の主体的な活動を促す指導計画となっている。 ・今日的な教育課題を意識して作成されている。

・単元の評価規準

【解答欄】

知識・技能	〈解答のポイント〉 ・高等学校学習指導要領（芸術科書道）の趣旨、特に書道Ⅱの趣旨を踏まえて作成している。 ・評価の三観点の趣旨を理解した評価規準となっている。
思考・判断・表現	・観点ごとの実現状況等を見取ることができる評価対象と学習活動について正確に記されている。 ・生徒の学習の実現状況を把握し学習改善及び教員の指導改善につなげることに配慮されている。 ・単元の目標との関連を踏まえ、A表現、B鑑賞のいずれかまたは両方の評価規準が適切に記載されている。
主体的に学習に取り組む態度	

科目	書道科教育についての 論述	対象	書道教育サブプログラム
----	------------------	----	-------------

試験区分				
特別選抜	外国人留学生等選抜	派遣教員選抜	現職教員選抜	一般選抜
×	○	×	○	○

受験番号						

(3) (2) で作成した単元の指導計画の概要のうち、第一次または第二次の本時（二時間）の指導計画（略案）を作成せよ。

【解答欄】（第 次）

〈解答のポイント〉

- ・ 高等学校学習指導要領（芸術科書道）の趣旨、特に書道Ⅱの趣旨を踏まえて作成している。
- ・ 導入、展開、まとめなどの授業の流れに配慮され、学習活動、指導上の留意点を明確にわかりやすく記載している。
- ・ 実際の授業実践が想定し得るものであり、生徒の主体的な活動を促す指導計画となっている。
- ・ 指導と評価の一体化について配慮され、各活動における資質・能力ごとの実現状況等を見取ることができる評価対象と学習活動について、正しい記載している。
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現を配慮した計画となっている。
- ・ 今日的な教育課題を意識して作成されている。

科目	書道科教育についての 論述	対象	書道教育サブプログラム
----	------------------	----	-------------

試験区分				
特別選抜	外国人留学生等選抜	派遣教員選抜	現職教員選抜	一般選抜
×	○	×	○	○

受験番号						

Ⅱ 情報化社会が進展する中で、芸術としての書を学ぶ意義や価値を論述せよ。また、生徒がその意義や価値を実感できる芸術科書道Ⅰの授業を構想せよ。解答は日本語で記述すること。

【解答欄】

・意義や価値

〈解答のポイント〉

- ・学校の現状を適切に理解し、今日的な教育課題を踏まえ記載されている。
- ・教科「芸術」として科目としての「書道」を捉え、書を学ぶ意義や価値が適切に論述されている。
- ・高等学校学習指導要領（芸術科）の目標に示されている内容を踏まえた記述となっている。
- ・高等学校学習指導要領（芸術科書道Ⅰ）に示されている目標や内容を十分に理解した記述となっている。

科目	書道科教育について の論述	対象	書道教育サブプログラム
----	------------------	----	-------------

試験区分				
特別選抜	外国人留学生等選抜	派遣教員選抜	現職教員選抜	一般選抜
×	○	×	○	○

受験番号						

・授業構想

〈解答のポイント〉

- ・主體的・対話的で深い学びの実現を配慮した授業の構想となっている。
- ・実際の授業実践が想定し得る授業の構想となっている。
- ・学校の現状を適切に理解し、今日的な教育課題を踏まえた内容となっている。
- ・高等学校学習指導要領（芸術科書道Ⅰ）に示されている目標や内容を踏まえ、書を学ぶ意義や価値について考える内容となっている。